

## 新人・配転者の方にオススメ！情報システムセキュリティ入門～システムで守る情報資産～【録画視聴+オンラインライブ】（4122009）

本セミナーでは、知識学習と演習を取り扱うことで、ユーザー企業が直面する情報システムセキュリティに関する課題への取り組み方や、

情報を保有する本質的脅威と求められる対策を理解することができます。演習は課題が存在するユーザー企業の情報システムを題材とすることでより実践的に学ぶことができます。

[【IT入門者向けオープンセミナーの詳細はこちらから】](#)

開催日時	2022年6月2日(木) 録画配信開始（～6月14日録画配信終了） 2022年6月3日(金) 2022年6月4日(土) 2022年6月5日(日) 2022年6月6日(月) 2022年6月7日(火) 2022年6月8日(水) 2022年6月9日(木) 13:00～16:00ライブセミナー
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 <b>専門スキル</b>
講師	安田良明 氏 （株式会社ラック セキュリティビジネス統括部 副統括部長 兼 デジタルビジネス推進部長） 1996 年 情報通信メーカーへ入社。システムズエンジニアとして、ナショナルセキュリティ分野に関する情報システム構築、セキュリティオペレーションセンター構築に従事する傍ら、 2005 年から2007 年に掛けて、米国の情報保証技術の調査研究を行う。 2009 年 株式会社ラックに入社。サイバーリスク総合研究所の研究者として、研究成果の製品化、特定用途システムへの転用提案や情報セキュリティ教育、人材育成などを担当。 2010 年 ナショナルセキュリティセンターを設立し、初代センター長として就任。社会システムが期待する情報保証技術の調査研究を行うと共に、国家の安全保障を担うシステムに対し、自社の研究成果を提供し、社会セキュリティの確保に貢献する活動を行う。 2011 年 内閣官房情報セキュリティセンターセンター員として、情報セキュリティ対策の推進に関する専門的、技術的な事項についての支援業務を行う。 2013 年 S&J株式会社へ入社。 組織の業務とITの状況を可視化し、トップダウンのガバナンスコンサルタントを行う。インシデントが発生したお客様に対して、インシデントレスポンスやデジタルフォレンジックを行い、ボトムアップからの支援も担当。 2019 年 株式会社ラックに入社。SDGs 達成に必要な社会環境を予測し、産業システム全般に必要なセキュリティソリューションの企画開発を行う。
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,800円 一般 : 43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	情報システム部門若手・配転者の方、システム企画担当 <b>初級</b>
開催形式	録画視聴・講義・グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ・演習や質疑応答でマイクを利用することがあります。ご発言いただける環境にてご参加ください。 *キャンセル規定について、録画開始日を開催日といたします。
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9315
ITCA認定時間	5

## 主な内容

### ■受講形態

【2パート構成】

1. 録画視聴 【録画視聴のご注意】
2. ライブ配信 (Zoomミーティング) 【セミナーのオンライン受講について】

※上記リンク先を、お申込の前に必ずご確認ください。

録画配信期間：2022年6月2日～2022年6月14日

ライブセミナー開催日：2022年6月9日13:00～16:00

※事前に録画配信を受講された前提でライブセミナーを行います。

### ■テキスト

録画配信日にマイページに掲載

### ■開催日までの課題事項

録画視聴

本当に必要な情報システムセキュリティ要件を定義する能力を身につけよう！

情報通信技術の普及と発展に伴い、組織の業務活動を効率化するために、様々な業務処理が情報システム化されるようになりました。

しかし、情報システムを導入することで、業務システムが効率化される反面、情報システム特有の課題である情報セキュリティの問題が発生するため、情報セキュリティ対策に取り組んでいく必要があります。

情報セキュリティの問題は組織特有の問題のため、ベンダー任せの曖昧な情報セキュリティ要件ではなく、本当に自分の組織が必要としている情報システムセキュリティ要件を定義する能力が、ユーザー企業側に求められます。

.....

本セミナーでは、知識学習と演習を取り扱うことで、ユーザー企業が直面する情報システムセキュリティに関する課題への取り組み方や、情報を保有する本質的脅威と求められる対策を理解することができます。演習内容は、課題が存在するユーザー企業の情報システムを題材とすることでより実践的に学ぶことができます。

.....

<<内容>> ※変更する場合がございます。  
コースは録画配信とライブ受講の2つのパートに分かれています。

### 【録画配信】

録画配信された動画を視聴することで学習いただきます。<約2時間>

あわせて個人ワークの演習課題を提示します。

ライブセミナー日までにご自身で演習について取り組んでください。

### 【ライブセミナー】

対話型オンライン形式でライブセミナーを実施します。<約3時間>

個人ワークの発表、講師からのレクチャー、受講生同士の意見交換（グループワーク）、質疑応答を行いながら、理解を深めます。

1. 2020 情報セキュリティ事故事例
2. 情報システムの導入
3. 情報システム導入後の懸案事項
4. 情報セキュリティ事故の事例
5. 情報セキュリティ事故の特徴

6. 情報システムセキュリティの原則
7. 情報システムセキュリティの実装におけるユーザー企業の役割と責任
8. 情報システムセキュリティの問題点を考える（ライブ：ワークショップ）

<受講者の声>

- ・丁寧で、わかり易い講義であった。発表方式だったので、いろいろな参加者の意見を聞いた事が非常に有意義だった。
- ・ディスカッションとそれに対するレスポンスをいただけたことで、改善すべき点などがよく理解できた。
- ・担当講師の方が一人ひとりの意見を聞き、フィードバックをいただけたので持ち帰れる情報の質が高かった。  
現在困っていることに対する具体的な策をご提示いただいた。
- ・初心者を目線に合わせた話し方・資料を提供いただいた。

-----  
<<キャンセル規定>>

2パート構成セミナーについては、録画配信日または事前学習配信日を開催日といたします。あらかじめご了承ください。

- ・土日祝を含む開催7日前から前々日まで…参加費用の50%
- ・土日祝を含む開催前日および開催当日（欠席）…参加費の全額

※受講権利チケット利用にてお申し込みの場合

- ・土日祝を含む開催7日前から開催当日…参加費の全額（必要枚数）